

## 羽村市私立幼稚園保護者連合大会に市議団が参加 今後も、「補助金の増額」「安全対策」等、 要望実現のため力を尽くします

11月20日ゆとろぎにおいて、「第11回羽村市幼稚園保護者連合大会」が行われ日本共産党市議団も参加しました。この大会には市議団は毎年参加し、要望書にある私立保育園保護者負担軽減補助金の増額については、積極的に、議会の一般質問で取り上げたり、毎年予算の修正案を提出、「羽村駅西口区画整理の予算を削れば、その一部で補助金の増額は可能」と具体的提案を続けてきました。これからも要望実現へむけ頑張ります。



## 12月定例議会は12月5日から

5日(水)、6日(木)、7日(金)は各議員の一般質問が行われる予定です。  
常任委員会などの日程は27日の議会運営委員会で決定します。詳しい日程や日本共産党市議団の一般質問要旨、予定日時は次号でお知らせします。



中原議員が羽村の史跡案内  
21日東京都私立学校教職員退職者の会の羽村史跡めぐりがあり、中原議員が案内・説明を行いました。  
今回のテーマは、玉川上水、天明の義挙、中里介山だったので、先週の羽村民報を示しながら、はむらの「進取の気性」の歴史の一部をたどりました。

無料法律相談のお知らせ 12月11日(火) 午後1時30分より 予約が必要。場所は羽村市委員会です。三多摩法律事務所の弁護士が相談を受けます。

## 国保税の引き上げは止めよ・これからも無料で健康診査 が受けられるようにと市長に申し入れを行いました

羽村市長 並木心 様  
2007年11月20日

日本共産党羽村市議団

### 国民健康保険税と基本健康診査にかんする要望書

1、羽村市国民健康保険運営協議会は、去る11月15日、並木市長あてに「羽村市国民健康保険税条例の一部改正について」との答申をおこないました。

国民健康保険加入者は、低所得者が多く、収入のほとんどが生活費となっています。市民からは「国保税の負担が重い」との声がこれまでも数多くあげられています。これ以上の国保税の引き上げは、暮らしを直撃し、その結果、滞納者の増加をまねいて、制度の崩壊や必要な医療を受けることができない市民を生み出すことにつながります。高すぎる国保税の根本には、国が国庫支出金を削減しつつきてきたことがあります。羽村市は国に対して、責任をもって国民健康保険制度を支えることをねばり強く要望することが必要です。同時に、一般会計から必要額を繰り入れ、国保制度と市民の健康を守るための努力を続ける責任があると考えます。

2、これまで市が40歳以上の市民を対象に無料で実施してきた基本健康診査は、制度の改変により、各保険者の責任でおこなうこととされました。これにともない、健康診断の有料化、検査項目の縮小などにつながる危険が生じています。

健康診断は、病気の早期発見・早期治療に有効な役割を果たしてきました。市民の健康を守るためにも、今後も無料で、これまでどおりの項目による健康診断を継続することはきわめて大切なこととなっています。

以上の趣旨から以下の点を要望します。

- 1、国民健康保険税の引き上げをおこなわないこと。
- 2、40歳以上対象の基本健康診査は、制度が変わっても、すべての対象者が無料で受けられるようにすること。検査内容の縮小はおこなわないこと。



担当部課長に市長宛の申入書を提出する中原議員・鈴木議員・市川議員の3人。